

山田治義副会長、ミズノスポーツメントール賞を受賞

本連盟副会長の山田治義先生が財団法人ミズノスポーツ振興財団からミズノメントール賞を贈呈されました。

この賞は、財団法人日本体育協会と財団法人日本オリンピック委員会の認定によるもので、競技スポーツにおける選手の育成・強化と地域スポーツの普及・振興に功績のあった指導者を顕彰するものです。

これまで、空手道では、津山捷泰先生、津山克典先生が受賞し、また柔道の山下泰裕先生、山口 香先生も受賞されている大変権威のある賞と言えます。



山田先生の受賞理由は、日本各地での空手道普及と選手・指導者の育成であり、特に尼崎市では、1965年に尼崎市空手道協会を設立、尼崎市空手道選手権大会を開催するなど、尼崎市の空手道発展の中心的役割を果たしてきました。

一方で芦屋大学客員教授を務められる山田先生は、その広い人脈を通じオーストリアで「ウィーンさくら武道科学大学院」の設立に参画しています。

このように国内のみならず、海外でもご活躍され、この間、山田先生の薫陶を受けた空手道拳士は、アメリカ、ヨーロッパ、中東、アジア等30カ国で50,000人に及ぶと言われます。

山田先生は「空手道修行の目的は、人間性の練磨である。万有に感謝し、礼義と節度を重んずべきだ」と常々言われます。

素朴ですが奥行き深い名言とと思います。空手を学ぶ者が座右の言とすべきでしょう。

